

**次期総合計画策定に向けた地区別懇談会
(第2回実施)
結果報告書**

令和2年4月

東金市

<目 次>

I 懇談会の概要

1. 懇談会の目的	1
2. 懇談会の方法	1
3. 懇談会の内容	1
4. 実施結果	2
5. 意見等の整理にあたって	3

II 地区別結果

1. 日吉台地区	4
2. 豊成地区	7
3. 源地区	11
4. 嶺南地区	13
5. 城西地区	16
6. 東金地区	20
7. 公平地区	22
8. 正気地区	24
9. 福岡地区	26
10. 大和地区	29
11. 田間地区	31
12. 丘山地区	33

I 懇談会の概要

1. 懇談会の目的

令和3年度からの本市の次期総合計画を策定するにあたり、市長の目指す「市民とともに進めるまち」を基調として、市民の皆様の意見・要望等を広く聴き取り、次期総合計画案の作成に反映させることを目的として、平成30年度に地区別懇談会を実施しました。

今回の令和元年度の地区別懇談会では、昨年度に実施した懇談会での意見を踏まえ、令和2年1月時点での策定状況（基本構想の体系案や土地利用の方向性について）を説明し、さらに意見を求めていくために開催いたしました。

2. 懇談会の方法

- (1) 開催期間 令和2年1月23日～2月25日
- (2) 開催場所 市内を12地区に分けて各地区公民館等で開催
- (3) 参加対象 全市民を対象とした任意参加
- (4) 周知方法 市広報・ホームページへの掲載及び区長回覧
- (5) 当局出席者 市長、企画政策部長、企画課長、企画課副課長、企画課担当職員
都市整備課長、都市整備課主幹、都市整備課副主幹、地域振興課職員

3. 懇談会の内容

- (1) 次期総合計画の策定状況についての説明
 - ・次期総合計画の策定状況について（基本構想の体系案、土地利用の方向性について企画課職員、都市整備課職員が説明。）

説明項目

- ① 総合計画とは
- ② 現行の総合計画
 - ・現行計画の体系、計画期間中の人口推移、計画期間中の主要産業の推移
- ③ 市民意識の状況
 - ・市民要望（アンケート）結果、平成30年度に実施した地区別懇談会意見
- ④ 次期総合計画について
 - ・次期総合計画策定に際しての課題・実情、次期総合計画の体系（案）

⑤ 土地利用の方向性

・次期総合計画における基本理念とまちづくりの柱、土地利用の方向性

(上記①～④は企画課・⑤は都市整備課が説明)

(2) 参加者との意見交換・質疑

・参加者から基本構想の体系案や土地利用の方向性、その他自由な発言を求めました。

また、時間的制約等により全参加者からの発言を求めることができない場合等も考慮して、無記名での書面による意見聴取も行いました。

4. 実施結果

地区名	開催日	開催場所	参加者数		
			男性	女性	計
日吉台	1月23日	日吉台西が丘会館	9	8	17
豊成	1月25日	豊成公民館	26	1	27
源	1月26日	源公民館	21	0	21
嶺南	1月27日	北之幸谷公民館	19	0	19
城西	1月29日	台方公民館	21	1	22
東金	2月4日	中央公民館	13	1	14
公平	2月5日	公平公民館	20	1	21
正気	2月6日	正気公民館	36	2	38
福岡	2月8日	福岡公民館	24	3	27
大和	2月18日	大和公民館	25	5	30
田間	2月22日	ふれあいセンター	32	2	34
丘山	2月25日	丘山公民館	17	0	17
合 計			263	24	287

5. 意見等の整理に当たって

会場で発言いただいた意見及び書面でいただいた意見を要約したうえ、次期総合計画の体系案としている以下の項目に部類して掲載しました。

<分類区分>

- 区分－1 子どもたちの今と未来を創る
 - ① 子育て支援 ②学校教育 ③青少年健全育成
- 区分－2 稼ぎ・賑わうまちを創る
 - ① 産業 ②経済 ③雇用 ④観光
- 区分－3 街・道・自然が織りなす市域を創る
 - ① 都市基盤 ②自然・環境保全
- 区分－4 安心して健やかな暮らしを創る
 - ① 福祉 ②健康 ③医療 ④防災・防犯
- 区分－5 ところ豊かなひとを創る
 - ① 歴史・文化 ②生涯学習 ③スポーツ振興
 - ④国際交流
- 区分－6 計画の実現に向けて
- 区分－7 まちづくりの基礎・土台
- 区分－8 その他

- 懇談会にて発言のあった意見・質問
- ◇ 意見用紙による意見
- ⇒ 市の考え方を回答したもの

II 地区別結果

日吉台 地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年1月23日	日吉台西が丘会館	9	8	17

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

◇こどもは他の地域と比べると多いように感じる。そこをアピールしては。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

○市民でいて市内で就労している人はどれくらいいるのか。

⇒統計調査では約48%である。しかし、昼夜間人口は約98%なので、昼と夜の人口差は少ない。つまり、近隣の経済圏の中心ということもあり、昼間は市外から市内へ働きに来ている人などもそれなりにいるということである。

◇東金市の友人・知人への紹介「九十九里町のとなり」という紹介の仕方。

◇「東金市日本一」を目指す。松本山雅の合宿宣伝。

◇観光の活性化（桜祭りなどでの花火の復活）。

◇新規就農者に対して休耕地の紹介やベテラン農家のメンターなど若者の就農・育成環境整備が急がれる。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○大網駅・茂原駅・八街駅などは立派になったが東金駅はみすぼらしい。お金をかけすぎる必要はないが、市の顔である東金駅を立派にしてほしい。6万の市の玄関なのにコンビニもない。若いサラリーマンにも要望される。八鶴湖周りなど小京都のようで風情があるのに残念。

○上り方面の電車は始発から3本が大網駅止まり。千葉まで直通であってほしい。JRにぜひ働きかけてほしい。

○東金線の電車が1本くらい増えてもどうということはない。それよりも駅前の開発が大事。バスターミナルを造ってバスを廻していくことなど。駅前開発をしないと人は寄ってこない。

○横浜市から移住してきたが、交通の便がどんどん悪くなっている。デマンドタクシーも夕方の運行時間が短縮された。予約も取れにくい。タクシーも減らされている。こうした情報は知らなかった。周知していないのでは。

○公共交通の利便性。電車は少なくともバスで大網、成東まで出られたら必要ないかも。駅前開発しても人は安いところに住む。かつての基本構想には日吉台の開発が

ばっちり入っている構想だった。日吉台は自然環境がいい。ソーラーも増えて変わってきている面もあるが。生活環境は悪くなった。バス、交通網。街中心部に行く生活の足が奪われている。買い物も行けない。

○行政として、今後の基本構想の中で日吉台地区をどのような捉え方をしているのか。どのような街に持っていこうとしているのか。

⇒駅前3駅周辺はコンパクトなまちづくりということで、山武郡市を引っ張ってきた東金市として駅の求心性を高めていく。日吉台地区のあり方については、土地利用としては駅周辺の良好な市街地とらえている。

○日吉台は今後開発の余地もない。やはり利便性が高くないと、自然環境だけでは続かない。日吉台周辺の活性化が関心事。メディアでも、「住みたい街とは？」ということで武蔵小金井などが取り上げられている。商店街の活性化、生活がしやすい。そういうことを大事に考えていただきたい。

○どういうところが住みたい街なのか？いろんなランキングがあるが、私は商店街のある所だと思う。それを大事に考えてほしい。

◇空き家対策について、大手家具メーカーと提携して若い人に魅力的な物件を出してはどうか。

◇蘇我の不動産屋で駅別の坪単価目安が出ていた。東金はとても安かった。安いことを売り（魅力）にしていくことも考えてはどうか。

◇都市機能を集約するなら公共交通（タウンバス）の利便性が高まらなくては利用者は増えず不便さが増す。しっかりと利便性を充実させることが必要。

◇JR路線が埼玉県のように長く伸びていくと人口流入増のきっかけになるのでは。木更津市のバスターミナルのように高速バスの利便性向上を図ることも有効。

◇交通の便が悪すぎる。このままだと陸の孤島になってしまう。使える交通網の整備を進めてほしい。

◇企業誘致や移住の呼びかけで人口を増やすことは必要になる。

◇乗合タクシー、なぜ縮小したのか。前のやり方でも不備が多かったのにそれ以上に使いにくくなった。

◇日吉台は、開発当時＝バイクグラウンド・バラ園があり、マンション建設、商業施設誘致など計画あり→今は、太陽光パネルがあちこち→バス便の減少→買い物弱者・交通弱者の増加→空き家拡大→人口減少へ向かっている。

◇東金駅の整備（売店の設置）→駅は市の玄関。立派な建屋が必要。

◇千葉までの直通便の増加、日吉台から東金駅までのバス便の増加。

区分-4 安心で健やかな暮らしを創る

○市の防災について。昨年秋の台風と大雨災害で日吉台は幸い水の被害はなかった。日吉台小学校を一時避難所として開けたがだれも来なかったようだ。街中の避難所がいっぱいになったから開けたとの説明だったが、雨が一番激しいときに開けたようだ。

もう少し早く開ければ避難できたのでは。危機管理が甘かったのでは。防災に関しては、早めに手を打つべきで、結果が空振りでもいいと思う。お願いしたい。

◇今回の災害を経験して、山の管理、林相転換を国の力を借りて進めるべき。

◇これからの10年は難しい時代。免許証返納すれば日吉台に住むのも難しくなる。

- ◇昨年の台風の時、市役所や市長の動きが見えなかった。防災無線も聞き取りづらかったので、SNSなどで情報を出してほしかった。頼れる自治体であってほしい。あの時は絶望した。
- ◇防災無線が聞こえない。よい方法を考えてほしい。
- ◇東千葉MC、東金市がお金を出しているメリットは何か前面に出してPR。日吉台から東千葉MCへのバスはない。

区分-5 こころ豊かなひとを創る

- 生涯学習に関連して、日吉台小学校、北中学校も児童・生徒は減っている。空き教室の活用を考えていただきたい。高齢化時代、高齢者も使えるようにしてほしい。

区分-6 計画の実現に向けて

- 平成の合併問題あったと思う。今回の総合計画は市だけの計画である。広域で連携できるところとは連携しないとどこもつぶれてしまう。そのへんのことが計画には載っていないと思うがどのように考えているのか。
⇒これまでの山武郡での連携をふまえつつ、八街市、千葉市などこれまで連携していなかった自治体とも連携していきたい。
- 説明会の事務局の人数が多すぎる。コスト意識が必要。
- ◇公務員給与について、ラスパイレス指数が高い東金市は問題。病院にもお金がかかり様々なサービスに使えない状況にあるのに。職員数も問題（多い）。

区分-7 まちづくりの基礎・土台

- 他の地区は（行政による）市の公民館があり、消防団も組織されている。日吉台は自治会館も自主防災組織も自分たちでやっている所以住民の負担が大きいと思っている。

区分-8 その他

- 1年前に私が出した話。その進捗の話を引きたいと思って参加した。大きな計画の話も重要と思うが、前回の意見に対して回答がなかったのが残念。この場でなくてもどのような状況かがわかるようにしてほしい。広報などでの報告だけでもいいと思う。わざわざ市に相談に行くことは身構えてしまうし、懇談会などなかなか話し合いの場に参加できるものではない。
- ◇「まちづくり」は難解なこと。一朝一夕にはできない。そのため少しずつ小さいことから種まきを重ねていく。市役所のどの課も「まちづくり」を考え、具体的に政策を進めて行くと思う。八鶴湖で消防出初式を見た。火事があったときに「安心・安全」を消防団からもらいました。ありがたいことです。
- ◇選択と集中で基本構想を大々的に進めてほしい。
- ◇東金高校、駅からハイキング、市原中央高校の東金城研究を効果的に活用して、人口を増やす。

豊成地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年1月25日	豊成公民館	26	1	27

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

- ◇豊かさを次の世代に渡すためには、私は東金市の進む方向は高齢者対策だと思います。若い世代の就労・結婚・子育て…は綺麗な言葉で使いたくなる言葉です。しかし、現実的ではない。中心を占める政策ではない。今の子育て世代のキーワードは都心・駅前・駅近です。車がなくても生活できる場所である。
- ◇子育て支援の充実をお願いします。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- インパクトのあるものはないか。ビジネスモデルというものがあるが、ジャパネットなどははっきりしている。ビジネスモデルは特許を取っている。具体的なビジネスモデルを持ってほしい。せっかく大学があるのであるから連携してインターネットを活用して海外とのつながりをもって情報を取ってほしい。双方向の情報交換が必要である。日本版DMO（＝ディスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション＝地域の観光資源に精通し、地域と共同して観光地域づくりを行う法人）を導入するなどのことも検討してほしい。そういった大きなテーマがほしい。
- 不動産業や銀行とも情報交換・連携して新しいビジネスモデルを作してほしい。
⇒東金市の経営戦略を定めるなかで活かし伸ばす戦略を具体化していきたい。
- 本日、松尾に行く用事があったが、イチゴ狩りで人が大変賑わっていた。やはり東金市も市として「一つの味」を出してほしい。一つの味をもって、ビジョンを持って、PDCAをしっかりとってほしい。「味」のあるところにひとは集まる。
- 何もかも取り組もうとすれば予算不足に陥る。市の活性化につなげるために、具体的な案の作成に力を入れてほしい。東金市は、まずは、集客、魅力のある街づくりを進めるべきであると思う。QC活動（＝品質管理など問題を解決する方法を模索する活動）をどんどんやるべき。
- 農業については、千葉県は他県と比べ力のある分野である。地域密着、やる気を求める。
⇒稼ぎ、賑わうまちを創るという柱を立てている。経営戦略を定める中で具体化していきたい。

- きれいな計画があっても、若者の流入人口を増やすためには雇用の場が必要である。
- 若者、よそ者、ばか者の視点が必要。
- ◇若い世代が都心部で生活基盤を造れている現状なので、地方には職場がない、通勤も不便であり、親たちが住んでいるだけの地域が増えている。田舎で収入が安定して生活するには公務員になるしかない（しかし人数は限定される）。
- ◇東金で働く場ができないとダメ。企業ですよ（パートやアルバイト採用レベルではない会社が必要）。
- ◇DMOを取り入れるべきである。
- ◇市の中心に機能集積では豊成地区の不便は増えるのでは。交通弱者など。
- ◇稼ぐための収入をどう考えているのか。具体性がほしい。
- ◇若者のリターン対策がほしい。
- ◇米作り、野菜作りではなく、イチゴ農家の育成をしたらどうか。国道126号線沿い。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

- トヨタのスマートシティを創る動きがある。東金市においても市内にそういった区域を創っていただきたい。そうすれば人口は流出しない。
- 昭和の時代から要望してきたことであり、都市計画マスタープランに取り込んでいく内容となるが、九十九里からの避難道路、圏央道の整備など交通網の整理ということで、都市計画道路を豊成から上に伸ばしていくことについて、区長会から要望させていただいているが、改めてよろしくお願ひしたい。これまでの経緯としては、全く検討が進んでなかった。こういった道路整備は、九十九里の海の駅にきたお客さんにみよりの郷にも訪れていただけることにもつながるものである。
 - ⇒災害情報の伝達については、安心で健やかな生活をつくるという柱を設けており、具体化していきたい。
 - ⇒土地利用の方向性でもご説明させていただいたが、九十九里方面から成田八街方面につながるライン、そういった認識を私共でもしているところである。今後交通体系の整備もしながら、各拠点の連携も視野に入れながら検討を進めて参りたい。
 - ⇒昨年、国土交通省の道路局長に面会した時、圏央道を単に作っても、たしかに効果はあるが、やはり圏央道を活かすのは、圏央道にいかにか串刺しするような道路をつくるか、いざ災害が起きたとき、物資を輸送することもできる。国土交通省にも働きかけを行いながら検討を進めてまいりたい。
- 広域農道は走っているが、そういった横軸はあるが、縦軸が足りない。また、通学路についても歩道が未整備の場所もある。整備が進められているのであるが、さらに東中のほうにまで伸ばしていただきたいという声が区から出ている。豊成から圏央道に行って、その先に出られるといったことを実現できるようよろしくお願ひしたい。
- ◇豊成地区の道路整備について、関内～堀之内～中野～殿廻の家徳横丁の道路幅の拡張・整備（通勤・災害道路として）。

◇家徳横丁から中野を通る道路（学生の通学路）の整備を希望します。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

- 高齢者の孤独の問題、高齢者福祉に力を入れていただきたい。
- シルバーエイジ、プラチナエイジといった言葉がある。これまでの延長線上の政策でなく、大胆な柱として高齢者対策を設けていただき、日本一高齢者に優しい東金にしていきたい。
⇒高齢者対策については、二番目の柱として設けている。大学との連携については、地域連携室とのコミュニケーションをより活発に行っていきたい。
- 今後構想のなかでどうやって取り入れていくのかということになるが、今年の災害を経験して思うのは、防災行政無線はデジタル化がすすめられているが、高齢者が自宅にいて聞こえないという声を多く聞く。デジタル化を進めるこの時期に、戸別受信機をぜひ各宅に配る、補助金を交付するなどしていただきたい。基本計画に入るものになるかもしれないがよろしくお願ひしたい。
- 地元の災害情報をいち早く知るということは重要である。各家庭を区長が回って情報収集をしたが、今後情報伝達手段の整備に力を入れていただきたい。
- ◇日本一高齢者にやさしい街。日本一高齢者が輝ける街「東金」。最近、60歳からの世代をシルバーエイジではなくプラチナエイジという言葉で表される。東金市は「東の金」「イーストゴールド」です。ゴールドのように黄金の輝きでイキイキとした人生を送ってもらう「ゴールドエイジ東金」。最近、トヨタ自動車は静岡県に2000人規模のスマートシティを創るということである。東金市もトヨタに負けない、東金市の中に全く新しい東金を創る「ゴールドエイジ東金」を。ただし、大事なことはシンボルを創ること。そしてヒストリーを考える必要がある。従来からの延長で事を進めるのではなく東金市の特徴を創り上げていくべき。高齢者対策に大きく舵を切れば流入人口の増加・安定的な雇用創出も現実的になる。
- ◇高齢者にやさしい街は子供たちにとってもやさしい街になる。ワークショップを開催してはどうか。ダイバーシティが伴わないとイノベーションは起こらない。
- ◇東千葉メディカルセンターが救急での十分な機能をしていないので解決してほしいです。
- ◇東千葉メディカルセンターについて、特徴あるセンターにすれば。例えば、ここで見えない部門を造る。

区分-5 ころ豊かなひとを創る

◇城西国際大学との共存、多面的に見て。

区分-6 計画の実現に向けて

- 城西国際大学に地域連携室というものがあり、巡回の公開講座が開催されている。地域活性化学部、地方創生学部といったものを作っていただくと総合計画の策定の際などに力となる。大学に対する働きかけを行っていただきたい。若者の視点が少し足りないのではないか。
- 高齢化率もまもなく30%に達しようとしている。そういった大変な状況にあるとい

うことをもう少し市民に対して伝えていただきたい。市民が変わらなければ街は変わらない。

◇総合計画について、30年先・40年先の将来を見据えて策定していると思うが、まず、これからの10年、これは今まで経験した10年とは全く違うと思います。悪魔のシナリオですと消滅に近づいていく10年かもしれません。まず、人口が減少していく。若者の流出の歯止めが利かない。

◇税収確保の観点。「ふるさと納税」返礼品開発推進事業の創設を考えたい。

◇人口増の観点。

1. 「東金市発見」

(1) 市の歴史的建造物（寺社・仏閣）の紹介（看板等）

(2) 景観地巡り

(3) 商業・工業巡り等の観光ルートを設定し、東金市の良さをアピールする部署（行政）、協力する地点、グループの育成をすることにより呼び込み、定着化を図る

2. 遊休農地の活用

(1) 市民農園設置のための支援

(2) 農園主の育成

◇他市との連携はどうなっているのか。山武市、大網白里市との連携、例えば交通網

◇三市一町との連携は。東金だけ突走してはいないか。

区分-8 その他

◇超高齢化となる中で、少子高齢化の解消を目指すのか、または、高齢者が暮らしやすい街にしようとするのか。どちらに向けた構想なのか全くわからない。状況の説明は判るが原因の解決となるのか要望に対しての対応の部分はされたのだと思うが…？

◇東金には城西国際大学がある。大学には地域連携推進センター公開講座が設置されている。これを発展させ、学部として地域創生学部・地域活性化学部のようなものができるとうい。東金市に足りないのは若さと異質の文化の取り入れである。大胆なアイデアをもつ若者です。大学と経済界がタッグを組む。よそ者・若者・ばか者が地域を創る。

◇交流人口をどう増やすのか。仕掛けづくり、きっかけづくり、仕組みづくりを行政がすべき。例えば、宮崎県日南市のクラウドソーシング、高知県上山町のサテライトオフィスなど。

◇総合計画を策定するうえでリーサスを使つてのワークショップを考えてはどうか。

◇東金は楽しい、東金は面白い、東金はうれしい街、東金はやさしい街という街づくりをお願いします。

◇市民を変える仕掛けづくり、きっかけづくり、仕組みづくりは行政の仕事。我々も積極的にお手伝いさせていただきます。市民を使つてください。

◇市町の合併を想定していくのかという問題がある。

◇常に市民と向き合うべき。

◇他県で取り組まれていないことを実行するべき。

源 地 区

開 催 結 果				
開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数		
		男性	女性	計
令和2年1月26日	源公民館	21	0	21

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

- 教育について、市の小中学校は特徴のある教育方法でぜひ入学させたいといったものがあるか。他市から人を呼べるようなものがあれば、社会増、自然増につながる。何もしなければ人口推計どおりとなる。
- ⇒本市は人口規模にしては学校が多い。若い人がそれなりに来ている街。今回の計画策定に当たり、若い人の意見も聴いているが、J I U等の教育機関とも連携していきたい。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- 総合計画に稼ぐというキーワードあり。観光客の増大を挙げているが、東金市としてインターネット、SNSを活用する考えはあるか。
- ⇒カメラガールズを活用した発信した例あり。活用していく方針、具体的には今後検討。
- 東金市の税収をどのように増やす考えか。
- ⇒企業誘致が例に挙げられる。圏央道の開通も控えており、誘致企業からの税収をはじめ、企業からの増収を図りたい。方法論については今後検討していく。
- 5本柱に稼ぎがあるが、人を呼び込む施策が必要と思われる。外国人一人当たり15万円くらい落とす。稼ぐことを考えることは非常に重要。企業誘致も東金にお金が落ちるような企業誘致が望ましい。また市に魅力がなければ子どもを教育しても東金の人的財産として残らない。いかに稼ぐことに注力していくか。
- ⇒県と話した際に、観光・ゴルフ客について、もう1時間でも2時間でも滞在してもらえそうな取り組みが必要といった意見交換を行った。そういった考えを今後取り入れていきたい。
- ◇みのりの郷の充実により人の流入をはかる。
- ◇テレビ企画への参加による市のPR。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

- 土地利用の方向性の中で、圏央道と県道の交差点を拠点という位置づけにしているが、影響大きいので内容を教えてもらいたい。
- ⇒市街地の発展と市全体の均衡ある発展を目指している。近隣の成田市、八街市と

の連携を視野に入れ、4年後の圏央道の開通を見据え、産業の拠点とし、地域の活性化につなげていきたい。

- ◇災害時の倒木による通行止め、停電が多発した山林の整備に対して補助金制度施策を願いたい。
- ◇土地利用の方向性について、源地区の位置づけ・役割が見えてこない。
- ◇滝沢地区に圏央道のスマートインターの設置と、パーキングエリアの誘致。
- ◇市の課題に対する対策という点で悪くはないが、世界情勢である地球温暖化対策が見られない。東金市行政においては遠い話なのだろうと思う。
- ◇風水害の際、停電で井戸水が使用できなかった。源地区にも水道を引いてもらいたい。

区分－４ **安心で健やかな暮らしを創る**

- ◇医療を充実してもらい、救急時には速やかに病院に入院できるとよい。

区分－６ **計画の実現に向けて**

- 将来の人口減少。市そのもののあり方。市町村との合併等についての考えがあれば聞かせてほしい。
- ⇒合併については、住民投票の結果が出ているので動かしがたい。連携については、これまでの山武郡内での連携に加え、人口減少、資源の有効活用の必要性から、千葉市、成田市、八街市等との連携も図っていきたい。

区分－７ **まちづくりの基礎・土台**

- 源小学校の閉校により地域の核が消滅する。小学校に代わる新たな核を作らないと、今後、源地区は更に少子高齢化が進み、地域としての機能が失われることになりかねない。早急に対応する必要がある。

区分－８ **その他**

- 現在の総合計画が達成できたのかできなかったのか、課題は何なのか。目標に対しての達成率はどうだったのか。
- ⇒第3次総合計画の最終的な総括を行っているところ。わかりやすいところでは、2020年に人口7万5千人の目標で、現実には5万8千人であった。なお基本計画は5年毎に策定しているので運営上は修正している。総括についてはホームページに公表の予定。
- 7万5千人に増やすという計画に向けて、何をやり、結果としてできたのかできなかったのか。今までの課題をしっかりと把握して今後の計画作りに活かしてほしい。
- ◇計画の実現に向けて早期の実施を願いたい。
- ◇赤字財政を直すにはどうしたらよいか。
- ◇質問に対して正面からの回答がなかったのが残念。

嶺南地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年1月27日	北之幸谷公民館	19	0	19

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

- 鵜嶺小学校の建て替えについてはどのように考えているか。
⇒小学校の建て替えについては、現時点では検討していない。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- 企業を誘致しても、本社が来なければ固定資産税の増加のみでは。小さな企業でも、本社を誘致しなければ。
- 企業誘致について、人口減少社会から、雇用が難しいと思われる。人が集まらないのでは。
⇒雇用の問題については、高校生の就職先は地元傾向強いと思われる。市内には3つの高校があり、また大学もある。若い世代が東金を離れるのを防いでいきたい。
- ◇農業の後継者不足は大きな問題、このままでは耕作放棄地が増える。集約化、企業化が必要。
- ◇日吉神社の祭礼は観光資源として可能性は大きい。しかし継続していくには地域の住民たちだけでは、限界である。
- ◇若者が働ける職場誘致をしてほしい。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

- 今後また災害への対応が必要となり市財政は今後さらにできることが少なくなる。空き家などについて、使える廃屋を行政が仲介して誰か住めるようにできればよいのでは。東金の魅力は自然災害が少なく住みやすい。空き家を安く提供できれば人口減少の抑制につながる。
⇒空家等対策計画を策定し、全般の取り組み始めたところ。発生させないための取り組みとして、効率的に家屋が流通されるような取り組みの参考にしたい。
- ◇東京直通バスはJRより便利である。補助金等で運賃を下げることや増便ができないだろうか。
- ◇市内各所に空き家、空き地が目立ち、地域の寂しさと防災の観点から不安を感じている。遊休地の増税等で所有者に有効活用を考えさせることや、土地の売買の斡旋・相談に乗ってくれる施策。
- ◇新興住宅地は田んぼを埋め立てて造成するため、農道がアクセス道路となり、道が

悪く流入した住民は困っている。人口を増やすためには道路整備や水路整備が必要である。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

- 高齢者の労働力を活かしてもらいたい。
⇒高齢者の方が楽しく暮らし続けられるような取り組みや、高齢者も含め地域の方々と連携してまちづくりを進めていきたい。
- 財政が少ない中で、高齢者が体を動かして頭を使うことが必要。長い間寝たきりになってはお金もかかる。市を挙げて健康、介護予防に力を入れていくべき。高齢者が働きながら生きがいにつなげるような施策を。
- ◇東千葉メディカルセンターの赤字解消をする仕組みづくりを優先課題として取り組んでほしい。

区分-6 計画の実現に向けて

- 財政非常に厳しい中でどうやっていくのか。切るべきところは切るということも必要。
- なににしても財政力が必要であるが、稼ぐ、貯めるということを実現するには職員は大変だと思われる。
- ◇様々な課題を解決するのに財源が必要であり、将来的に確保できるのか不安である。
- ◇予算一律カットなどではなく、必要と思われる事業には全力で取り組んでほしい。

区分-7 まちづくりの基礎・土台

- 懇談会の開催通知、回覧板を見たがわかりにくい。また若い人が参加しやすいような表現としてもらいたい。
- 市民とともに進めるまちづくりとはどういうことか。市民と向き合ってもらいたい部分もある。
⇒市民とともに進めるまちづくりとは、本日の場も含め、進捗状況を報告し、皆様の意見を取り入れながら計画作りを進めていくということ。

区分-8 その他

- 懇談会の資料は用意しないのか。次回からは資料を用意願いたい。
- 方向性は見えたが、具体的な施策が見えなかった。どのような産業に力を入れていくといったことが見えるように説明してもらえると助かる。
⇒具体的な内容は示せていないが、10年の経営重点戦略の中や柱立てしたこども施策にて具体的な施策を策定していく。
- 今回は10年間の構想。市のやろうとすることが具体的になっていないと市民は納得しないのでは。まちづくりの柱を見たときに、一番力を入れようとしているのはこども施策か。防災は4番目の柱でよいのか。
⇒5本の柱の順番は優先順位ではない。だが、こども施策について力を入れるべきというご意見多かった経緯もある。
- 策定スケジュールを教えてください。また議会との関係はどうなっているのか。

⇒この懇談会の意見を受けて素案を固め、総合計画審議会に諮問し、答申を頂く。
その後、基本構想は議会に諮って決定することとなるが、進捗状況については都
度報告し意見を頂く。

城西地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年1月29日	台方公民館	21	1	22

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

- 流山市は減っていないという話があった。東金市の役所の皆さんが流山市のような何が充実しているから人々が住みたいと思っているのかわかっているのかお聞きしたい。
→子育て施策に重点を置いているという認識である。
- 人口減少に対する具体的な施策が見えてこない。極端に言えば人を呼び込むという観点から言えば、一人子どもを産んだらお金を交付するなどといった施策もありうると思う。結婚したら東金市に住みたいと思えるような施策を考える必要があると思う。子どもに対する投資も大切だが、子どもを産んだらという考え方の投資が将来的には税金を生むということもある。
→子育て支援策について、今後具体的に重点戦略や基本計画等を策定していく中で重要視して検討を進めていきたい。
- 5本の柱のうち、子ども達の未来を創る柱について、青少年健全育成について、オリンピックのレベルの若い人たちが増えている。スポーツの英才教育をしていただきたい。東金アリーナなどでクラブを創設して、3歳くらいの子供たちから卓球、バレーボールなどを教える仕組みをつくってもよいのではないかと。特化する教育も必要であり、また人も呼べる。
- ◇財政的な支援を含めて、子供を育てやすい環境づくりを。
- ◇子育て支援で人口の流出を防ぎ、また学生時代を東金で過ごした若者が卒業後も引き続き住んでもらえるまちを目指してほしい。
- ◇隣の市では中学生の英検受験を無料にしている。講習会なども実施している。英検3級取得を目指し空港関連の仕事に従事させて人口定着を図っている。
- ◇人口の増加は子育ての支援施策が重要。学童保育などの長時間化により安心して仕事ができるようにする。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- 圏央道の入り口に企業を呼び込むこともすべきである。観光客も来やすい。
- 東金市のホームページを見たことがあるが、非常に見にくい。また東金市の魅力はイチゴ、ブドウなどたくさんあるが、知らない人がたくさんいる。東金市と検索する人はいない。イチゴなどで検索して、東金市が上のほうにヒットするような工夫をしてもよいのではないかと。また外国人が温泉をインターネットで調べたら、英語

で乳頭温泉が出てきたから、外国人旅行客が増えているとのこと。ホームページを利用したPRについてもっと検討いただきたい。

○千葉、東京まで比較的短い時間で行けるところである。みのりの郷のアンテナショップを高速バス乗り場などに設けるなど検討いただきたい。

○旭市と鴨川市は、子どもを産む女性が増えているという。旭中央病院や亀田病院があるからだと思われる。東千葉メディカルセンターの利用者は近隣からの客が多いのではないかと。であれば、東金市に引っ越したら優遇があるとか、そういった東金市に移っていただくことを考えても良いと思う。

○平坦で田んぼが広がっており、東金市には大規模な農家が4、5件あるという。農業の集約化、企業化など、農業を営む若者が少しでも東金に来る施策を長期の計画の中で取り入れていただきたい。

○成田空港をどうやって生かすのかということについて考えていただきたいと思う。東千葉メディカルセンターを利用して裕福層の外国人向け医療サービスを提供するのもよいと思う。また、足が早い農産物でも飛行機を使えば世界中のマーケットを活用できると思う。

⇒成田空港については、第3滑走路が出来ると雇用が3万人発生すると聞いている。東金市も参加している協議会において調査研究が行われており、注目してまいりたい。ただし外国人向け医療サービスについては、未だフルオープン前であるため、まずはそこを目指して経営改善を行っていくこととしたい。

◇新たに工業団地を造成する計画なのか、東金ならではの特色をもった業種の誘致ができないか。

◇みのりの郷や大学が順調であるうちに次のステップに踏み出してほしい。

◇東金市版ドラクエウォークやポケモンGOを行ってみるのも面白いのではないかと。若者の声を聴いた方がよい。名所を外に発信していく。

◇持続可能な商業への支援。

◇市外の方も呼び込める魅力ある観光施策、祭事の支援等の継続的な実施。

◇東金の名産づくり。

◇東千葉メディカルセンターやみのりの郷等の強みの部分として今後どのように稼ぐ施策として活用していくか。

◇千葉東テクノグリーンパークは流通産業の立地が多く、多くの雇用が生まれていない。多くの雇用が発生するような中心となる企業が必要。

◇観光の中心となるものがいいか。焼却場の熱を利用した温水施設、また温室ハウス農業で農地の有効利用と農業会社による運営。

◇道の駅、果物などの近郊農業に力を入れ、農業の企業化も進める。

◇若者をいかに増やすかの施策が必要。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○成田空港について、東金から成田に直接向かえるようなアクセスの検討は進行中であるかどうか。

⇒山武市が実証実験で行っていた。京成バスの採算の検討などをするものと聞いている。このバス自体は求名駅前区の前を通っており、朝夕2本くらいある。東金市としても注視しながらやっていきたい。

◇台方地区の排水は、線路下で排水管が細いため止まってしまう。また国道126号でも同様であり、さらに押堀側が高くなっている。流れやすくしてほしい。

- ◇市民である私もまちの美化、清掃などに今後とも積極的に参加していこうと思う。
- ◇公共交通の利便性を高める新たな施策があればと期待している。
- ◇成田空港を使ったポテンシャルの活かし方が必要。市場を海外に求める。海外客を東千葉メディカルセンターに呼ぶシステムを作る。
- ◇空き家やシャッター街の対策が必要。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

- 確実に災害はやってくる。災害に対しての対策を示していただきたい。先日の台風災害は動画で流れ、消防団が助けてくれるまちとして、東金市は安全なのだというアピールになったのではないか。都会からの人口流入も起こせる。東金市しかやっていない、できない計画を作っていただきたい。
- 東千葉メディカルセンターの今後の方針を聞かせていただきたい。今後のビジョン、先をどのように考えているのか。
 - ⇒東千葉メディカルセンターは地方独立行政法人という別の法人であるが、経営はあまり良い状態ではない。しかし外来患者は1日400名を超えている。一人当たりの診療単価も計画を上回るものである。しかし、3次救急などコストのかかることをやっているため、医療圏の中核的な役割も果たしながら、赤字を縮めるべく対策を進めているところである。
- 地域の中核のため努力しているということであるが、なかなか具体的な努力が見えない。周辺の病院との連携が図られているのか。
 - ⇒周辺の病院と機能が違うため、現場での連携はできていると思う。回復期と急性期というすみ分けをして、お互いさらに機能分化できれば理想的である。そうした働きかけを県に対して進めていきたい。
- ◇医療、福祉の更なる充実した支援。
- ◇消防団への支援強化などによる災害対策の強化。
- ◇高齢者に配慮したやさしいまちづくり。
- ◇災害の無いまちづくりを。

区分-5 ころ豊かなひとを創る

- 東金図書館の利用について、朗読の会などを増やし、お客さんを増やす取り組みをして図書館の価値を上げてほしい。民営化した図書館があり、イベントを行っている。民営化も考えられると思う。そうするといろいろなジャンルのアニメイベントなどで、子どもたちも来るようになると思う。
- 専門書は城西国際大学にかなわない。そうしたところとのすみ分けや連携を考えても良いと思う。
 - ⇒東金図書館については、平成13年度から比較すると貸し出し冊数については3割増にはなっており、限定的なカフェ併設なども実施している。現在蔵書を置く場所がないということもあるが、多様な使い方について今後とも検討していく。

区分-6 計画の実現に向けて

- ◇東千葉メディカルセンターの赤字体質が改善できないと、計画の基本部分の組み立てができないのではないか。

- ◇東金市長もSNSをもっと活用していただきたい。毎日千葉市長のツイートを見て感じています。
- ◇本市だけでは限界がある、学生をも巻き込み山武郡市が一体となったまちづくりが必要。
- ◇すべてにいい顔をする構想だと思い、大きな期待はできないと感じた。何かをやる為には何を止めるべきかを考えてほしい。

区分－7 まちづくりの基礎・土台

- ◇地域と共に手を携えて歩むとした手段として、地域づくり・コミュニティとの連携は不可欠。自治会加入や行事の参加等が必要であり、住民意識向上させる施策を併せてお願いしたい。
- ◇砂郷のまちづくりを進めてほしい。人が集まり住みたくくなるような特色あるまちにしたい。

区分－8 その他

- 今回の懇談会には30歳代が来ていない。若者の意見を取り入れていていただきたい。
- ◇子育て中の方々が参加できるような時間帯での開催にしてほしい。
- ◇交通網、観光、文化財、大学等本市にポテンシャルはあると思う。それらの財産をいかに結び付けていくかが大切。
- ◇移住定住施策、婚活事業、同窓会に結び付けた定住人口に向けたまちづくりなど。
- ◇計画はあくまで計画であり、実行しないと意味がない。
- ◇総合計画、総合構想のフレームは良いと思った。

東金地区（4区）

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年2月4日	中央公民館	13	1	14

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

○日吉台小学校と源小学校が統合するが、廃校になる源小学校は地域の防災拠点にもなっている。廃校の活用方針はあるのか。

また、いずれこの地域の公立高校の統廃合も進むと思われる。JRの更なる利用者減にもつながる話のため考えていく必要がある。

→廃校利用は市全体の問題。地域とともに考えていく。

また、学校統廃合がJRの利用者減につながる問題も理解する。多様な問題に対応するよう検討する。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

◇にぎわいのまちづくりのはずが、花火大会などが中止となった。再開を期待。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○中心市街地や市街地活性化など、今は暗いイメージがあるが、明るい雰囲気になれば新しい住民が増えるのでは。

○バスは誰も乗ってない、あるいは一人しか乗ってない、逆な運転をしている（空気を運んでいる）ところにお金を費やしていいのと感じるところもある。駅を降りてよい街だというイメージが着けば、人口減少の歯止めにも繋がるのではなかろうか。

◇東金駅西口が暗い。市の玄関口を明るくすることが人口増加につながる。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

○自然災害は少なく安定した地域との認識あったが、令和元年の台風被害、大雨等想定外の自然災害がある。良い経験として、防災、防犯も含めて安全・安心面を充実した計画にしていきたい。

○77区ある自治会で防災会設置済みは36区で47%ほど。それぞれの地域での防

災が肝要であり、まず自助だが、共助が重要。各地区での設置促進をしていただきたい。年に複数回の防災訓練等の機会を作るべきと考える。

○今後、減災・防災が重要。地球温暖化が進んでおり、100年に1度の大雨など当たり前になり回数が増える。真亀川護岸の改修などが必要になると考えられる。

○体系説明中、東千葉メディカルセンターの説明がなく、現状維持なのか、近隣自治体の協力で大きな病院にするのか、県に引き取ってもらうのか。展望がわからない。

財政面でも悩ましい材料と思うがどう考えているかお聞かせ願いたい。

◇防災・減災の東金市を目指してほしい。

区分-8 **その他**

○現行20年の「第3次総合計画」での評価がどの程度盛り込まれているのかが見えない。反省や結果などを総括すべき。

○説明された次期総合計画骨子案は綿密にできていると思った。

○説明事項について紙ベースでの配布や、映写内容の拡大など、幅広く意見を聴取・交換するに当たって参加者が理解しやすいような配慮が必要と考える。

○計画内容にもっと夢のある話を求める。

地の利・ポテンシャルはある。人口減少などの対策に終始するような計画では問題がある街で、住むのをためらう。「何か対策を打っていて面白い街だ」と思えるような街を一緒に作っていきたいと思う。鳥取や島根などが人口を増やすように、東金も施策を打ち、将来が楽しくなるようなまちにしてほしい。

公平地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年2月5日	公平公民館	20	1	21

<参加者からいただいた意見>

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○市長立候補の際、東金駅西口の開発というものがあったが、今後10年間で具体化するものはあるのか。また、東金市のポテンシャルとしては、天然ガスもある。天然ガスを有効利用するアイデアはないか。

⇒東金駅西口のまちづくりについては、まちづくりの柱の3本目、「街・道・自然が織り成す市域を創る」の中で考えていく。現在は基本構想の段階で、今後基本構想からブレイクダウンして基本計画を策定していく中で姿として見せていく。天然ガスを含め、道路の優位性等、市のポテンシャルについては活かしていきたい。

区分-5 ころ豊かなひとを創る

◇スポーツの習慣をつけ、介護・医療費を削減する。

区分-6 計画の実現に向けて

○ふるさと納税という制度があるが、東金市としてこれまでどのような取り組みをされてきたのか。また、今後具体的にどのように取り組んでいくのか。

⇒入りが多いのか出が多いのかについては、現状は出が多いようである。返礼品など工夫をして少しずつではあるが回復してきている。返礼品の中に防災グッズも入れるなどし、少しずつ挽回しているとは聞いている。

◇他市町村と連携する。

区分-8 その他

○目標を達成するための数字、財源等、具体的にどうしていくのかが全く見えてこない。公共交通の予算はどうするのか。使われなくなった農地をどうしていくのか。子育ての助成を行うのか、行うとすれば人口減少で税収が落ち込む中、財源はどうするのか。せっかくこうした機会を設けるなら、より具体的に説明していただけたらよかった。

⇒今回は骨子の部分、基本的な方向性を示したもの。今後、基本計画でより詳しく

考えていくこととなる。その後、実施計画において、予算の検討等、より具体的に検討していくこととなる。

○統計数字をもとにした説明があるだけで、これまでの計画の進捗状況の説明がなかった。基本構想は多少夢を持たせて策定するものとは思いますが、今日の説明ではお金のかかるものばかりが並び、財源を含めどのように対応していくかが見えない。お金を生み出すことを全く考えていない計画。こういう要因があるから人口は増えますという計画を見せなければいけない。計画としては寂しく感じた。

⇒東金10年の経営重点戦略の中で、稼ぐ戦略、活かし伸ばす戦略を設定し、稼ぐ戦略で生み出したお金を、活かし伸ばす戦略に投資するという循環をつくっていききたい。戦略内容については今後の検討の中で具体化していく。

企業誘致については、千葉県知事と意見交換をした際に、東金は圏央道、千葉東金道路が結節する地域であるから、企業誘致を行っていききたいという話をしている。また11月に副知事が来た際にも同様の要望を出し、県からは情報共有を図りながら連携してやっていきたいという話もいただいている。

○説明にあった工業の部分。全体的に右肩下がりであるが、一部突出していた箇所があった。要因はなにか。

全国の地方自治体では同じような悩みを抱えていると思う。東金市の目指す方向について、全国的にモデルとなる地区はあるのか。まねをしていけばいいと思う。

⇒グラフの数字については、東金市統計書を使っている。その統計書のもととなっているのが工業統計調査報告書であるが、平成27年度は経済センサス活動調査から引用している。総計処理の違いで突出した部分が出てしまっているもの。国の統計書においても同様に平成27年が多くなっている状況。

モデルにできる自治体があるかとのことだが、東金市と類似した団体がある。近隣だと大網白里市や山武市など。そのような団体の状況は常に意識しチェックしているが、東金は昼夜間人口に差がない中、大網白里市は大分差があるなど、自治体によって違いがある。特定のモデルというものはなく、幅広く情報を集めている状況である。

○以前、東千葉メディカルセンターの説明会があった時に、東金病院と少しも変わらないといった発言があった。そのことを後日記録にて確認しようとしたが、文書の記録が残っていないとのことであった。今回の懇談会では、こういった質疑があったかは必ず文書で残していただきたい。

⇒第1回の懇談会の内容も記録し、ホームページで公表している。今回の懇談会についても当然作成させていただく。

正気地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年2月6日	正気公民館	36	2	38

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

◇教育に十分な予算を配分してほしい。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

○九十九里浜は観光地としてよいところである。市域を超えた観光面での連携が肝要。

◇源小の有効活用。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○「東金市清潔で美しいまちづくりの推進に関する条例」が制定されているが、雑草で荒れ放題、管理されていない土地が多く見受けられる。条例に強制力がなく効果が薄いと考えられる。これらの取り組みにおいて他で上手く運用している自治体を参考にして景観保全のためにも空き地等の雑草除去について検討願いたい。

⇒担当部署に伝える。

○正気地区と中心市街地を繋ぐ公共交通が無い。東金アリーナや広域斎場などの公共施設もあるので、公共交通体系も今一度しっかり地域をケアするよう見直していただきたい。

⇒公共交通については非常に重要という認識。ただし難しい問題。

○県道75号線、25号線に歩道ない箇所があり危険である。歩行者の安全・安心のため、歩道整備を望む。

⇒県道の整備の話。県、県警等と連携。県に申し伝える。

区分-4 安心で健やかな暮らしを創る

◇空き地の雑草の除去を市でやってもらいたい。

◇県道の主要交差点に右折レーンが必要。

◇産婦人科が少ない。

◇デマンドタクシーで病院には行けるが、帰りの時間がわからず予約ができない。

- ◇宿、関下はバスに乗るのに県道まで出なければならない。
- ◇成田空港へのバスが欲しい。
- ◇耕作放棄地の適切な管理の指導。
- ◇北幸谷川の堤防の老朽化が心配。
- ◇実効性のある空き地対策条例の制定。

区分－6 計画の実現に向けて

- 「広報とうがね」のイベント情報などに、「〇〇イベント：4月～（年◆回開催）」のような一部伝わりづらい表現がある。職を持つ者は日程が未定のイベントなどは最初から出づらく躊躇する。はっきりした広報手法をお願いできないか。
- ◇東千葉メディカルセンターの将来像を明確にする。

区分－8 その他

- ◇懇談会の開催時期を暖かい時期にすれば参加者も増えるのでは。
- ◇他の項目は具体的なものだが、「地方創生」は一人一人が様々なイメージを持つため目標に掲げるのには不適切。
- ◇画面を利用した説明はわかりやすい。しかし字が小さい。

福岡地区

開催結果				
開催日	開催場所	参加者数		
		男性	女性	計
令和2年2月8日	福岡公民館	24	3	27

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

◇少子化対策として、若者の婚活支援。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

○道の駅で結果が出たことへの分析はしているのか。若者は海がある関係で集まる。いま旧態依然としたものを、骨格を変えていかなければならない。東金駅に特急を止める。東金駅に駐車場を作り、格安で客に提供する。

○家康が鷹狩に来たということを活かしてほしい。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○福岡地区には診療所、ドラッグストアを含めて何一つない。地域の医療体制の充実、きめ細かく目を配っていく必要があると思う。東千葉メディカルセンターまで行こうとするとデマンドタクシーしかないが、予約が取れないという状況がある。

⇒それぞれの地域に資源がある。資源を呼び込むということが重要であると思う。

医療関係の張り付きも考えていきたい。デマンドタクシー、循環バスの状況は重々承知している。やはり再編が必要であるということで交通計画の見直しの中で考えていきたい。当然大きな柱としてメディカルを考えていきたい。

○移り住んで30年経つが、何ら景色は変わらずよくなった形跡がどこにもない。地価が10分の1に下がっている。みんなが住んでみよう、遊びに行こうと思うようなキャッチフレーズがあったらよいと思う。

⇒人口が減っている時代に入ってから初めての計画である。今までの流れでは人は住まない。稼ぐという考え方を入れるなど、新しい時代に向かっていけるような計画にしていきたい。

◇花の東金というならば、長期間、花を見ることができる方法を。

区分-4 安心で健やかな暮らしを創る

- 計画には災害に対する対策を盛り込む必要があると思う。ボランティア立ち上げ訓練を開催したが、市役所からは誰も来ていなかった。
 - ⇒昨年の台風大雨の対応を踏まえ、地震想定が大きかった地域防災計画の見直しを進めており、その中で地域コミュニティとの連携も強く打ち出していきたい。
- 災害時という言葉が一つも入っていない。住民の命を守ることが第一である。まず、避難タワーの一つを建てようであるとか、そうしたことが一つも入っていない。
- ◇福祉のまちづくりをすすめるべき。
- ◇路肩の崩れなど道路整備すべき。
- ◇公共交通の充実。
- ◇休耕地を活かした花いっぱい運動。

区分-6 計画の実現に向けて

- 市長が掲げておられる3つの理念と6つのビジョンというものがあるが、今回の総合計画の3つの理念と5つの柱との関係は。
 - ⇒市長の示すビジョン・理念は当然、計画には入ってくる。しかし市長は4年で仕事をする人間である。計画は10年ある。誰が為政者になっても行政の継続性というものがある。これが市長のビジョン・理念であるという書き方はしない。
- 高齢化率がこの地区は高いと思うので、介護施設を中心に集約を図っていくまちづくりを進めていくべきではないか。子育てのしやすいまちづくりも考えていただきたい。道路があまりにもぼこぼこで路肩が崩れている。市の中心部の機能強化を図るという説明があったが、福岡地区はどうになってしまうのか。
 - ⇒不満足な点、重要な点が重要になってくる計画であるべきであると考えている。東金市では扶助費が優先になってきていたためハード整備は確かに縮減してきた。しかし老朽化してきた。稼ぎましょうということでやっていきたいと思う。
 - ⇒土地利用の全体的な方向性は示させていただいたが、中心部の活性化のみをやるわけではない。市の賑わいであるとか若者が入ってくるところとして3駅を中心にまちづくりをしてきたという経緯がある。少しかさ上げをしてまちづくりをしていこうというもの。今後公共交通計画の見直しの中で広域幹線道路を活用や実際の交通を支える道路についても議論しながら進めていきたいと考えている。
- 具体性がなく、考える力がわいてこない。どういう風にやるか。それがわからない。
 - ⇒具体性の部分、骨組みということで企業誘致のようなものやっていきたいと考えている。企業誘致が一つのキーワードになってくるであろうし、取り入れていけるものは取り入れていきたい。
- いすみ市は公共交通機関も発達しているわけではないが移住希望者が多い。参考にすべきだ。
 - ⇒これまで稼ぐということはあまりなかったこと。これから産業交流拠点か、企業誘致などの施策が必要であると考えている。
- ◇10年の経営戦略にSDGsを取り入れてほしい。

◇隣接市町村との広域合併を目指す。

区分-7 まちづくりの基礎・土台

○地域振興協議会を発足していくが、いろいろご相談したいということが出てくると
思う。そのための受け皿をしっかり作っていただきたい。

⇒今年度から地域振興課が設置された。地域との関わり合いを強めていきたい。

区分-8 その他

○本日の説明の内容は、広報紙に載っているのか。

⇒ホームページに載せていきたい。

○市長が来られる日に懇談会を設定すべき。

○今後のタイムスケジュールはどのようになっているか。

⇒総合計画審議会において3月末を目標に基本構想を審議していただき、9月か
12月の市議会で議決をいただいて基本構想の策定を予定している。基本計画以
下についてはこれから肉付けをしていき令和3年1月くらいに計画策定の予定
である。

大 和 地 区

開 催 結 果				
開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数		
		男性	女性	計
令和2年2月18日	大和公民館	25	5	30

<参加者からいただいた意見>

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- ちいさな農業、複合経営、半農半漁といったことについても進める必要があると思うがいかがか。
⇒集約、遊休農地、担い手の問題、今後計画の中でも施策の柱に入っていくような形で進める施策として考えていく。
- 企業誘致に力を入れるべき。
⇒土地のポテンシャルを活かした施策を展開していきたい。
- もう少し踏み込んだ公園整備を。圏央道のサービスエリアの誘致を考えても良いのではないか。
- お年寄りが遊べてお金を落とすような、観光も併せてそういった施設があれば、やっていただきたい。ふるさと納税をもっともっと力を入れて、魅力ある返礼品を開発してやっていただきたい。
- 遠くからイチゴを買いに来る人も多い。そういったいい点を伸ばしていただきたい。道の駅を増やしてもいい。東金市から流出する理由としては働く場所が少ない点。農業大学校や、大網高校農業科などを活かしてよいと思う。
- ◇高齢者が稼げるまちづくり。
- ◇ハーフマラソンをまた開催してほしい。

区分-4 安心で健やかな暮らしを創る

- 防犯見守り隊の効果はあったか。帽子、旗などの整備について助成はあるか。
⇒夕方子どもさんたちが帰る時間帯に子どもたちの見守りをという放送をさせていただいている。防犯パトロール隊をつくっていくことについては、後押しをさせていただき支援も行っている。
- 西福俵区が先日の台風、大雨で調整池があふれ、道路冠水を起こした。改善をしていただきたい。
⇒防災計画の見直しの中で反映すべきものと考えている。
- 雄蛇ヶ池に100本以上の倒木があり、県外からの観光客も足を踏み入れられない

- ようになってしまっている。財政も厳しいかもしれないが、よろしく願いしたい。
- 空き家は今後も増えてくる。次期の総合計画に盛り込む予定はあるか。
⇒空家等対策計画を策定し、実施している。次期総合計画においても中古住宅の活用などにも目を向けながら住宅施策の一つの柱として考えていきたい。
 - ◇独居老人の生活サービスの強化。
 - ◇空き家の利用。

区分－6 計画の実現に向けて

- 子育てしやすい東金市、これを前面に出していただきたい。広域行政について、具体的に取り込めることも多いと思う。
- 非常に職員給料が高い。身を削る努力が必要である。そうすれば市民も納得する。
⇒国の制度改正に合わせる形で民間企業を調査しバランスを取りながら見直しを進めている状況である。
- 市民のポテンシャルを活かす方向でやっていただけないかと思う。

区分－8 その他

- 現在は食糧自給率が下がっている。戦闘機を買うことと、農業を支援すること、どちらが重要か。
⇒戦闘機については、国レベルの問題であるので、今回の場ではご容赦いただきたい。
- ◇懇談会には市関係部局の責任者の参加があったほうがいいのか。
- ◇手元の資料が少なく心許なかった。自宅周辺の要望も多く、一問一答はいただけない。

田 間 地 区

開 催 結 果				
開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数		
		男性	女性	計
令和2年2月22日	ふれあいセンター	32	2	34

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

◇通学路の整備。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

○「稼ぎ貯める」の行きつく先は我々の負担増がついてくるのでは。高齢者の有効活用施策も進めていただきたい。

⇒稼ぎ貯めるというのは、企業誘致等で市の税収増を目指す。市の施策の原資、公共交通など。また元気な高齢者にも活躍いただく。

◇ふるさと納税の活用を積極的に考えてほしい。

区分-3 街・道・自然が織りなす市域を創る

○西口の再開発について、どう考えているか。

⇒閉まっている店舗活用したカフェなど。商業、観光の面含めてこれから検討。

○土地利用の件、コンパクトシティに向かおうとしているのか。

⇒今住んでいる人に中心市街地へ移ってもらうということではない。東金が現状ある意味駅3駅を中心にコンパクトなまちづくりが進んでいる。交通弱者対策は重要なポイント。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

◇在宅勤務支援、優遇。

◇東金駅東口に改札がほしい。

◇東京直行バスの運賃を安くしてほしい。

◇高齢者が働ける企業誘致。

◇八鶴湖への大型バスの進入路設置。

区分-5 こころ豊かなひとを創る

- 城西国際大学、成田空港があるので国際都市という位置づけがあってもいいと思った。
⇒城西国際大学との連携、地域振興を進めていく。
- 学生は卒業後東京へ出てそのまま帰ってこない。ふるさと納税の取り組み甘いのでは。
⇒愛着のあるまち目指す。ふるさと納税も改善したい。

区分-6 計画の実現に向けて

- アリーナ、みのり、メディカル等大規模事業非常に成功。次期総合計画素案の中で、各種資源リソースをどう振り分けるかが重要だが、その方針もう決まっているのか。
⇒具体的な方針まだ。10年の経営戦略に位置付けるものは必ずやっていく、ここに何を位置付けるのかが重要。
- 増税にはならないというのだろうが、財政計画どう考えているのか。稼ぐというのは行政で使わない言葉。行政が稼ぐのか、産業が稼ぐのか。なぜこのフレーズにしたのか。
⇒健康寿命の延伸等により、生産年齢人口のかさ上げでカバーしたい。稼ぐという言葉は直接的な表現にはなるが、東金市としてのアピールとしても入れた。
- 人口の近隣との比較、予測との比較は。
⇒人口については、2040年東金市は20%減、大網白里市は30%減、山武市は40%減、九十九里町は50%減という予測。全国的な状況を見ると、大きい都市に移る傾向が顕著。十分踏まえて計画作りに取り組んでいく。
- ◇周辺自治体との合併の検討。

区分-7 まちづくりの基礎・土台

- 地域自治が確立していないと、地域と行政の連携できない。
⇒市民力・地域力を概念図に基礎土台として位置づけていく。

区分-8 その他

- 学生との意見交換、具体的な内容は。
⇒高校生との懇談会の中で出た意見としては、飲食店が多く便利。駅を中心に遊ぶところがない。アミューズメント的な要素が欲しい、など。

丘 山 地 区

開 催 結 果				
開 催 日	開 催 場 所	参 加 者 数		
		男 性	女 性	計
令和2年2月25日	丘山公民館	17	0	17

<参加者からいただいた意見>

区分-1 子どもたちの今と未来を創る

- 幼稚園の就園率が下がると聞いた。早く認定こども園化、幼稚園保育所統合し、民営化、お金を浮かせる行財政改革が一番手っ取り早いのではないか。
- ⇒昨年3月に就学前施設の在り方を打ち出した。まずはこの4月に第5保育所を認定こども園化する。老朽化施設の民営化検討。少しずつ着実に進めていく。
- ◇認定こども園化を進め民営化してほしい。

区分-2 稼ぎ・賑わうまちを創る

- 市内商業施設によく行くが、お店厳しい状況。東金の街を元気にするためには、市民が利用して地域で育てるという観点が欠落している。そのためには地域おこし。地球温暖化対策。防災対策ではなく、そもそもの温暖化対策として、何をすればいいのか、市として住民として何をすべきか、という方針を出すべき。
- 10年の経営重点戦略の中で、ふるさと納税の位置づけは。
- ⇒ふるさと納税の返礼品、最近はバリエーション増え、工夫もし、以前よりも伸びている。もっと魅力を高めていく必要がある。

区分-4 安心して健やかな暮らしを創る

- スマートインター、その付近に工業団地建設などの考え方について意見を聞きたい。
- ⇒市の財政状況は非常に厳しく、新たな区画整理の立ち上げは難しい。ただしポテンシャルの高さは認識。民間が手を上げやすい環境づくりに舵をきる。圏央道のスマートインターについて、具体的な動きはないが、視野に入れて模索してこの計画にも盛り込んで土地利用を考えていきたい。
- 停電対策ということで、電線付近の樹木地権者の理解を得て伐採などの対策の検討を。高齢者が増加し、社会保障費は上がっていく。行財政の合理化を痛みと伴うと思うが進めていただきたい。
- ⇒行財政合理化については引き続き行っていきたい。
- 近くにスーパー、市場等まったくない。循環バスの検討を。

○東金ジャンクションはこの地区のメリット。ここは東金の出入り口。海客の帰りなど、他県の方に寄ってもらえる最後のオアシスのような商業施設がこの地区にできればいい。

⇒圏央道のあるポテンシャルの高い地域。何らかの展開を考えたい。

○126号の中央分離帯にゴミが非常に多い。なぜゴミ拾いちゃんとししないのか。○

○のまちづくりという言葉多いが、どうやってという方法の記載がない。魂が入っていないと感じる。

⇒道路上のゴミについては、区の協力を得ながら一斉清掃等で対応したい。

○高齢者を元気にする施策が欠落しているのでは。

⇒高齢者サロン等の取り組み実施。地域包括ケアの支援の底上げやっている。

◇国道126号線沿いの活用。

区分-6 計画の実現に向けて

○丘山地区は飛び地があったり、季美の森の子どもは大網の学校に行ったりとか特異。

防災、減災の方法他の地域と異なる。深掘り、分析解析をもっとできないか。

⇒人口推計やその他の分野についてもしっかり分析していく。

区分-8 その他

◇懇談会では印刷物を配布すべき。

**次期総合計画策定に向けた地区別懇談会
(第2回実施)
結果報告書**

発行日 令和2年4月

発行 東金市 企画政策部 企画課

〒283-8511 千葉県東金市東岩崎1番地1

TEL : 0475-50-1122